

# 北見市上下水道審議会資料

平成 27 年 6 月 1 日

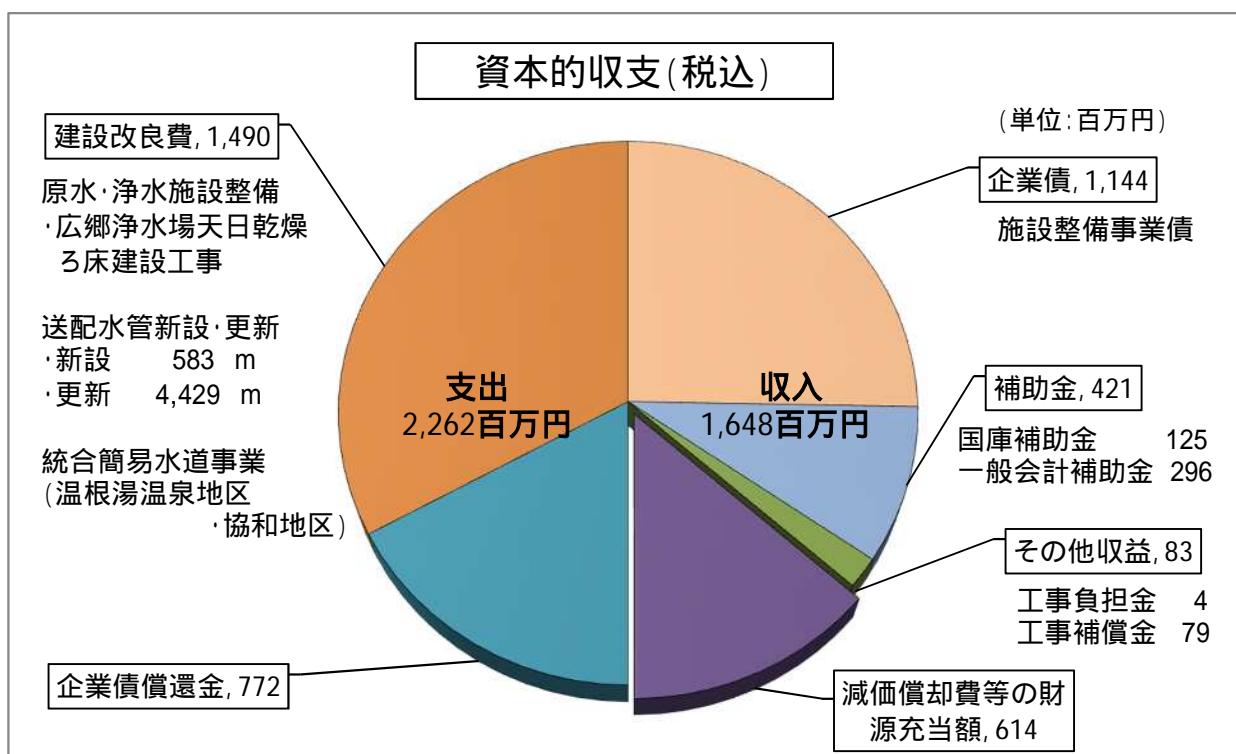
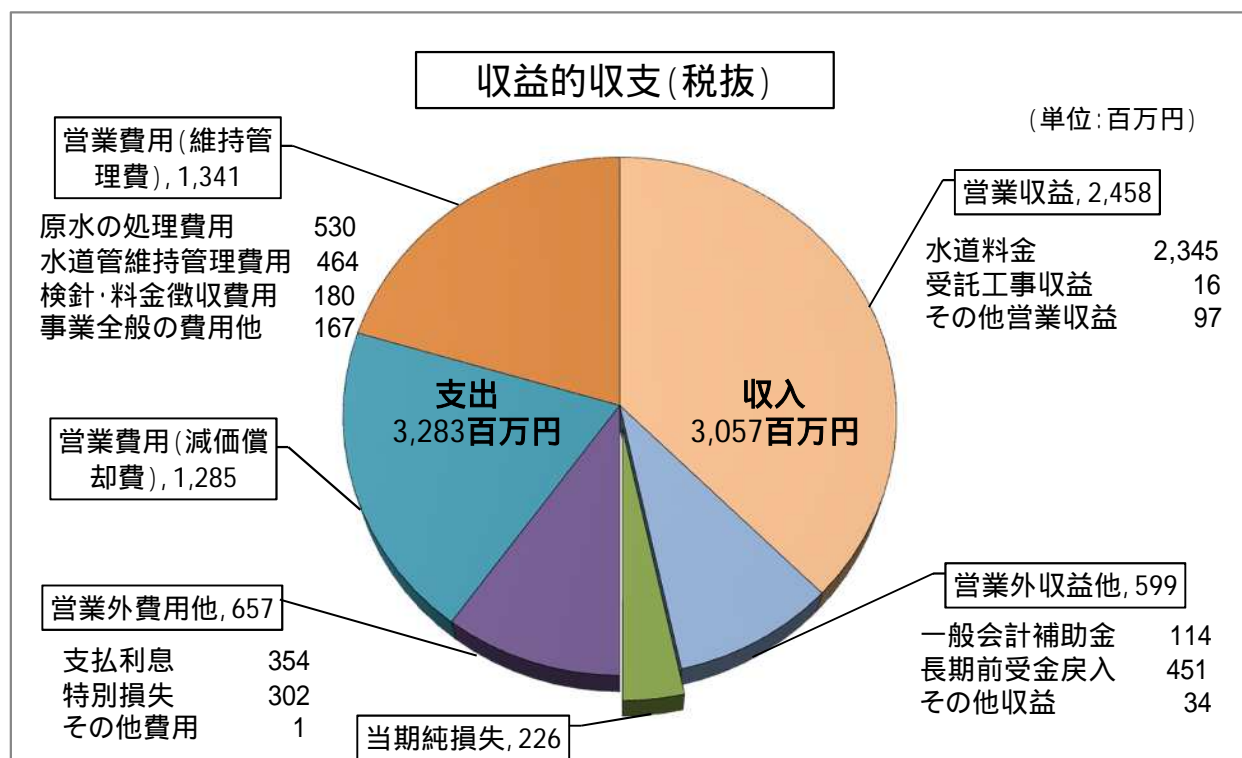
## 目 次

- |                          |           |
|--------------------------|-----------|
| 1 . 平成26年度決算見込みの概要について   | ..... P 1 |
| 2 . 合流式下水道緊急改善事業事後評価について | ..... 別冊  |

上 下 水 道 局

# 1. 平成26年度決算見込みの概要について

## 水道事業会計



平成26年度決算見込み(予算・前年度比較)

1) 収益的収支

(単位:百万円、税抜き)

区分	H26決算	H26予算(補正後)		H25決算		H26予算に対する主な増減	H25決算に対する主な増減
		金額	増減	金額	増減		
水道事業収益	3,057	3,104	47	2,727	330	有収水量の減 240千m <sup>3</sup>	一般会計補助金 111 長期前受金戻入 451
営業収益	2,458	2,516	58	2,463	5		
内料金	2,345	2,395	50	2,339	6		
営業外収益他	599	588	11	264	335		
水道事業費用	3,283	3,585	302	2,607	676	人件費 76 委託料 71 薬品費 26 修繕費 52 支払利息 26	人件費 44 委託料 53 動力費 9 減価償却費 362 特別損失 300(内退職 給付引当金繰入額 278)
営業費用	2,626	2,889	263	2,254	372		
営業外費用	355	381	26	351	4		
特別損失	302	312	10	2	300		
予備費		3	3		0		
収支差引	226	481	255	120	346		

予算に対する主な増減内容  
水道事業収益

有収水量の見込みが予算を下回り料金が50百万円の減収となったほか、その他の営業収益でも減収となったが、受託工事収益・営業外収益では予算を上回り、47百万円の減となりました。

水道事業費用

人件費については、欠員及び年齢構成により減少しており、物件費については、入札差金、事故等による緊急対応時の費用が少なかったことや経費節減に努めたことなどによる減です。

この結果、収入では、予算額を下回りましたが、支出では、予算額から約3億円ほどの経費を圧縮できたことから、約4億8千万円の純損失を見込んでおりましたが、約2億2千万円の純損失で決算する見込みとなりました。

2) 資本的収支

(単位:百万円、税込み)

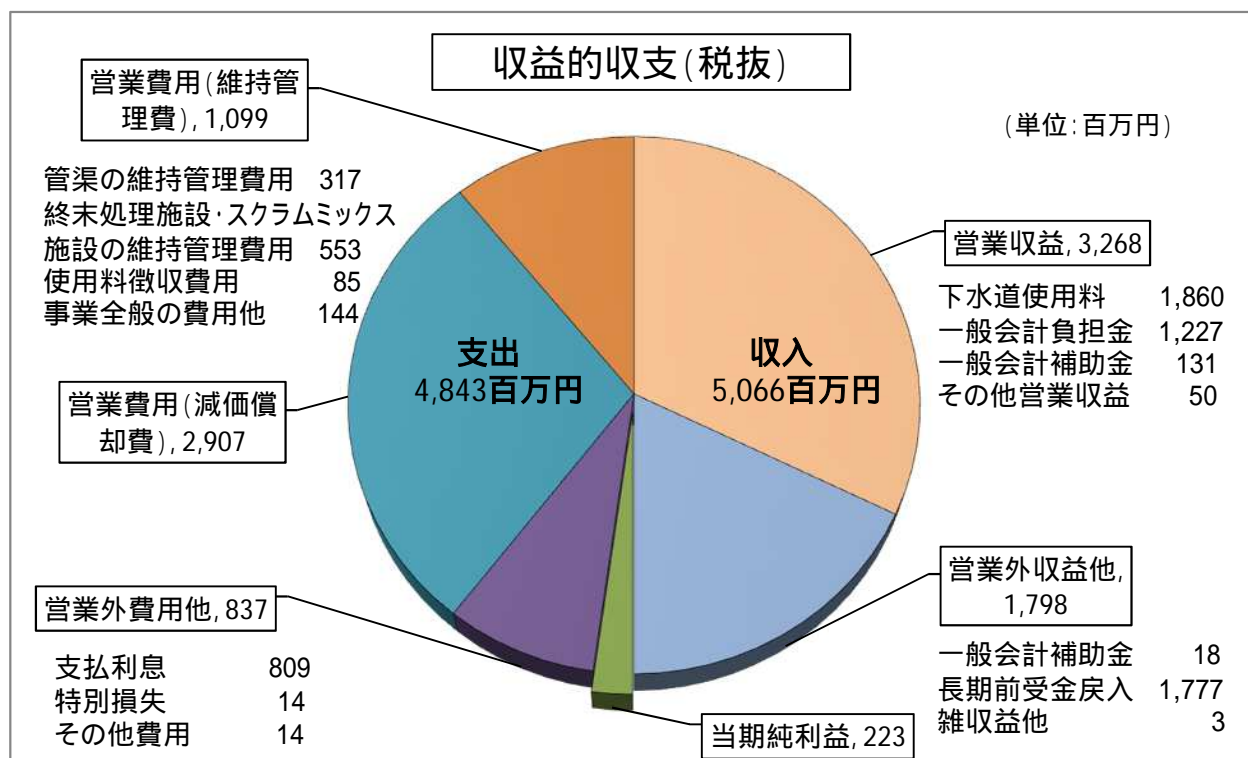
区分	H26決算	H26予算(補正後、繰越含む)		H25決算		H26予算に対する主な増減	H25決算に対する主な増減
		金額	増減	金額	増減		
資本的収入	1,648	1,792	144	1,600	48	建設改良費が入札差金等により減となり、また、それに伴い収入が減	一般会計補助金268の内 簡易水道事業補助金165 建設事業負担金105
企業債	1,144	1,262	118	1,176	32		
一般会計補助金	296	296	0	28	268		
工事負担金	4	4	0	4	0		
工事補償金	79	106	27	77	2		
国庫補助金	125	124	1	203	78		
一般会計貸付金			0	86	86		
一般会計出資金			0	26	26		
資本的支出	2,262	2,401	139	2,194	68		
建設改良費	1,490	1,629	139	1,523	33		
企業債償還金	772	772	0	671	101		
収支差引	614	609	5	594	20		

3) 資金残高

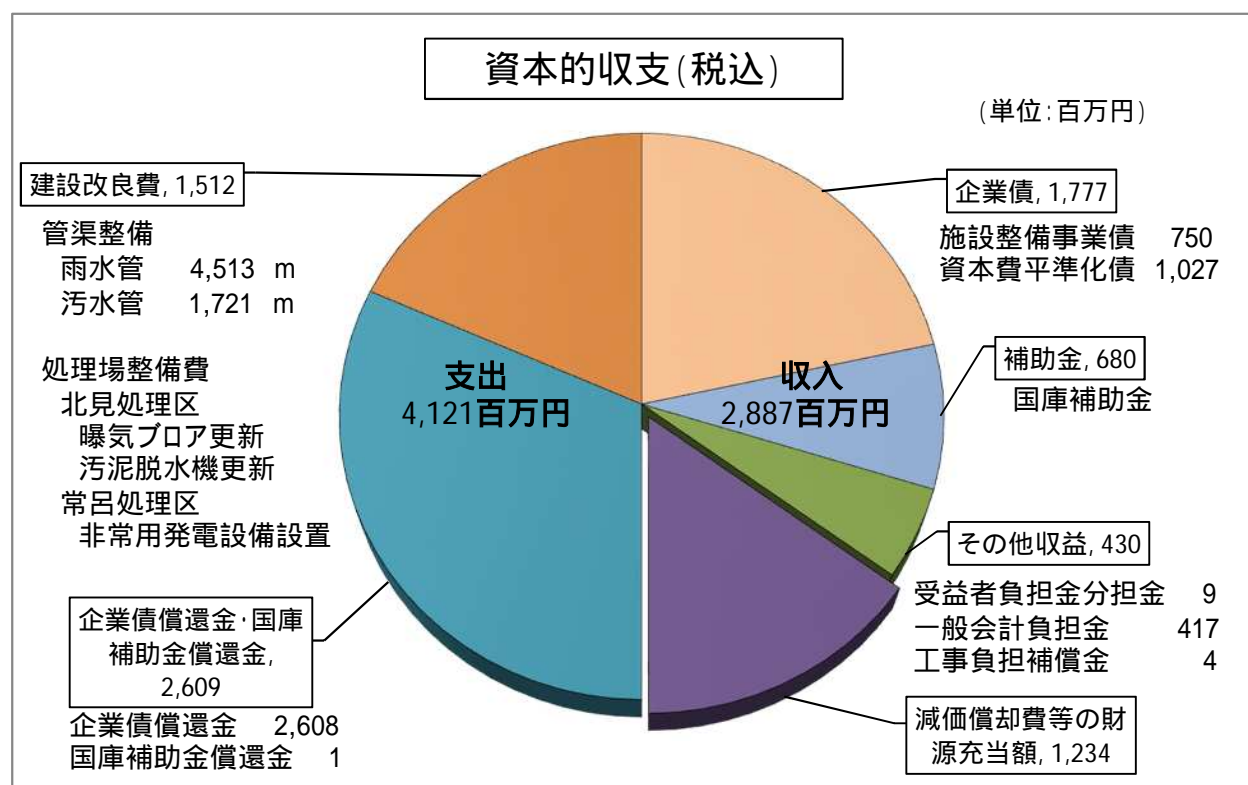
(単位:百万円)

区分	H26決算	H25決算	増減
資金残高	3,030	2,699	331

## 下水道事業会計



下水道事業債特別措置分 192.6百万円  
(後年度全額繰入)



平成26年度決算見込み(予算・前年度比較)

1) 収益的収支

(単位:百万円、税抜き)

区分	H26決算	H26予算(補正後)		H25決算		H26予算に対する主な増減	H25決算に対する主な増減
		金額	増減	金額	増減		
下水道事業収益	5,066	5,275	209	3,338	1,728	使用料 46 一般会計負担・補助金 152 有収水量の減 228千m <sup>3</sup>	一般会計負担金・補助金 46 長期前受金戻入 1,776
営業収益	3,268	3,462	194	3,316	48		
内使用料	1,860	1,906	46	1,865	5		
営業外収益他	1,798	1,813	15	22	1,776		
下水道事業費用	4,843	5,069	226	3,136	1,707	人件費 27 物件費 90 支払利息 79 資産減耗費 17	人件費 9 委託料 23 修繕費 42 減価償却費 1,779 動力費 16 支払利息 46
営業費用	4,006	4,143	137	2,267	1,739		
営業外費用	823	907	84	865	42		
特別損失	14	16	2	4	10		
予備費		3	3		0		
収支差引	223	206	17	202	21		

予算に対する主な増減内容

下水道事業収益

有収水量の見込みが予算を下回り使用料が46百万円の減、そのほか一般会計負担・補助金が減となりましたが、支出の営業費用維持管理費用等の減額に伴うものであり、収支には、影響しません。

下水道事業費用

人件費は、欠員及び年齢構成による減、物件費は、入札差金、事故等による緊急対応時の費用が少なかったことや経費節減に努めたことなどによる減です。

この結果、収入では、予算額を下回りましたが、支出では、予算額から約2億2千万円ほどの経費を圧縮できたことから、約2億円の純利益を見込んでおりましたが、約2億2千万円の純利益で決算する見込みとなりました。

2) 資本的収支

(単位:百万円、税込み)

区分	H26決算	H26予算(補正後、繰越含む)		H25決算		H26予算に対する主な増減	H25決算に対する主な増減
		金額	増減	金額	増減		
資本的収入	2,887	3,276	389	3,114	227	企業債80及び国庫補助金80は、翌年度に繰越す	
企業債	1,777	2,028	251	1,954	177		
国庫補助金	680	784	104	758	78		
受益者分・負担金	9	8	1	9	0		
一般会計負担金	417	386	31	324	93		
工事負担補償金	4	70	66	69	65		
資本的支出	4,121	4,537	416	4,283	162	建設改良費160は、翌年度へ繰越す	
建設改良費	1,512	1,926	414	1,762	250		
企業債・国庫補助金償還金	2,609	2,611	2	2,521	88		
収支差引	1,234	1,261	27	1,169	65		

3) 資金残高

(単位:百万円)

区分	H26決算	H25決算	増減
資金残高	1,607	1,995	388